



地域密着型金融の取り組み
～平成24年度の進捗状況について～

平成25年7月

株式会社 **滋賀銀行**

はじめに

当行は、平成22年4月に「**地域密着型金融の推進に関する基本方針**」()を公表しています。

本報告は、この方針に基づいた当行の「**地域密着型金融推進に関する個別取り組みの状況** (平成25年3月末現在)」についてお知らせするものです。

「**地域密着型金融の推進に関する基本方針**」の詳細につきましては、当行ホームページ上の「**地域密着型金融の推進 平成22年度～平成24年度の取り組み**」の項目をご覧ください。

また、今後の取り組み(平成25年度～平成27年度)につきましても、開示しておりますので
ご覧ください。

目次

項目	ページ
・地域密着型金融の推進に関する基本方針	P.1
・「3つのブランド戦略」に関する取り組みについて	P.2 ~ P.15
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.2
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.3
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.4
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.5
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.6
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(6)	P.7
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(1)	P.8
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(2)	P.9
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(3)	P.10
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.11
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.12
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.13
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.14
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.15
・地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について	P.16

地域密着型金融の推進に関する基本方針



当行は、地域の皆さまとの「共存共栄」を目指し
3つのブランド戦略 ～知恵と親切の提供～を
積極的に展開していきます。

ネットワークのしがぎん

アジアに強いしがぎん

CSRのしがぎん

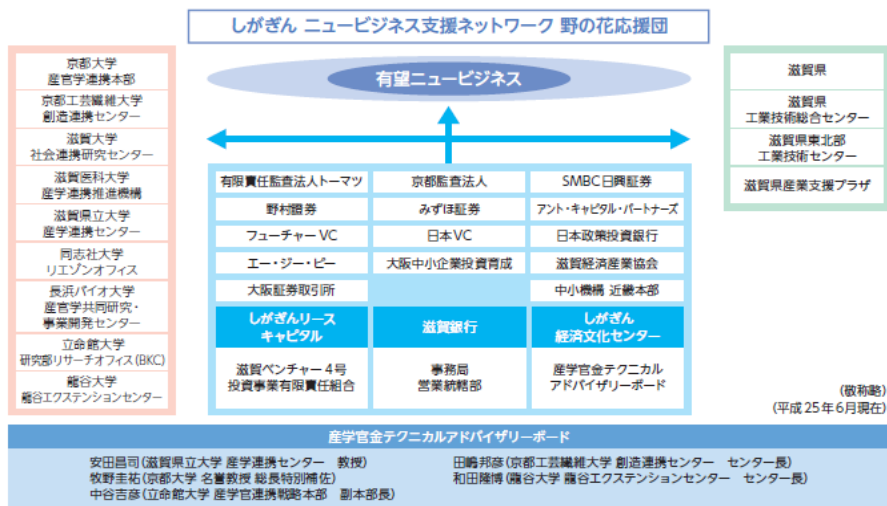
当行は、「**地域社会との共存共栄**」こそが地方銀行の目指すべき究極の姿であると考えています。

その実現のために、当行は「**自己責任原則に基づく独自経営**」の確立を通して、地域密着型金融の推進を図ってまいります。

具体的には、第4次長期経営計画(平成22年4月～平成25年3月)において、お取引先との相互理解を図るための「**対話力**」の更なる強化に取り組み、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」としての態勢を一層強固にして、「**3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～**」(「**ネットワークのしがぎん**」「**アジアに強いしがぎん**」「**CSRのしがぎん**」)の充実と実践に魂を込めて取り組んでまいります。

また当行は、この基本方針に基づき、地域密着型金融の推進に関する3つの視点「お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域やお客さまに対する積極的な情報発信」をも踏まえ、当行独自の「**3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～**」の具体的な実践に取り組んでまいります。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)



起業の夢を強力にサポートします

「野の花応援団」

・起業・新事業創出への支援を一層強化するため、当行は滋賀県をはじめとした行政機関、京滋地区の9大学、証券会社などと提携した、地域密着型のしがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」を組織(平成14年)し、お取引先のサポートに取り組んでいます。

・「産学官・金(金融)」の英知を結集した全国でもユニークなネットワークで、起業や新分野への進出を目指しておられるお取引先に対し、技術評価を含めた経営のサポートや、ファイナンスツールのご提供、株式公開支援などを行っています。

・また、ニュービジネスサポート資金(通称「野の花資金」)では、ニュービジネスの「成長性」や「将来性」を目利きし、原則 3,000万円までなら無担保でご融資を行っています。

エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

・当行は、ニュービジネスの育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より毎年「サタデー起業塾」を開催しており、平成24年度までの卒業生は、延べ1,811名にのぼります。

・平成20年度からは「環境ビジネス」に特化し、平成24年度のテーマは「グリーン&ライフ イノベーション~ジャパンプランド(環境技術・文化)の創造~」とし、「環境」「医療・健康」「地域活性化」に「ネイチャー・テクノロジー」を加え内容を充実させて開催いたしました。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（2）

エコビジネスマッチングフェア2012

- ・環境ビジネスに取り組む企業のサポートを目的として、平成24年7月11日に「『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2012」を開催しました。
- ・このフェアでは、当行の充実したネットワークを活用し、環境ビジネスに積極的に取り組まれている企業さま同士を結びつけることで商流を創出し、今後の新たな事業展開に向けたお手伝いをしています。
- ・今回で5回目の開催となります本フェアは、87社のご出展、1,910名のご来場をいただき、634件の熱心な商談が繰り広げられました。



（「エコビジネスマッチングフェア2012」開催の様子）

ビジネスマッチングで「商流」の創出を支援しています

地方銀行フードセレクション2012

- ・平成24年10月23日～24日に、東京ビッグサイトで開催された「地方銀行フードセレクション2012」に参加し、当行のお取引先2社にご出展いただきました。
- ・全国から地方銀行のお取引先620社の食品関連企業が出展、来場者は2日間で1万名を超える盛況ぶりでした。

食の商談会2013

- ・地元産の安全で美味しい優れた商品・食材の販路拡大による地場産業の振興を目的とした「食の商談会2013」を、西日本シティ銀行、肥後銀行との共催により、平成25年1月25日に開催しました。当日は、食品関連企業72社が百貨店などの大手バイヤー11社と171件の個別商談を行いました。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（3）

「しがぎんビジネスセミナー」を開催

- ・経営戦略のご参考としていただくため、お取引先を対象にした「しがぎんビジネスセミナー」を、平成24年9月24日に開催いたしました。
- ・当日は、第1部で「今、経営に求められる自己変革力とは」を、第2部で「自社株評価と事業承継対策」の勘所とは～スムーズな事業承継を行うために今やるべきこと～」をテーマに、情報をご提供しました。



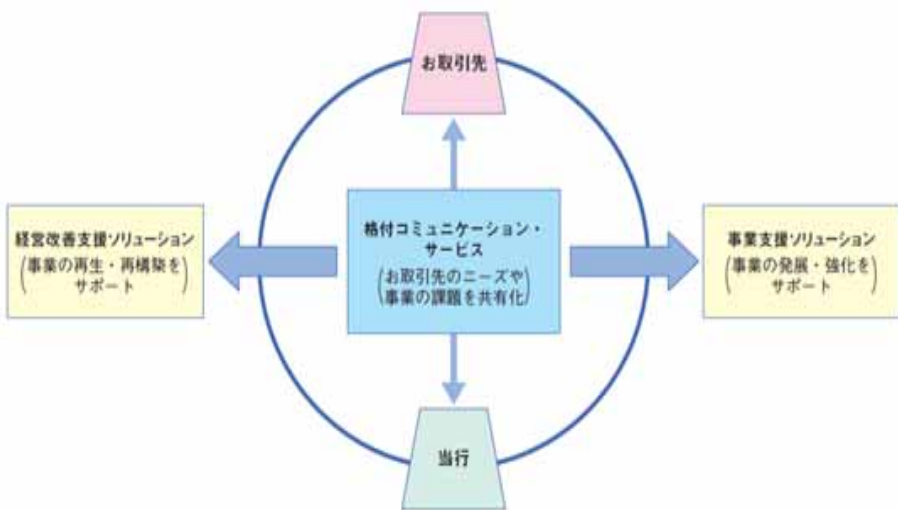
（「太陽光発電セミナー」開催の様子）

事業者の皆さまへさまざまな
ソリューションメニューを提供しています

太陽光発電に関する情報をご提供

- ・平成24年10月17日、「太陽光発電セミナー」を滋賀県との共催で開催いたしました。
- ・平成24年7月に開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、メガソーラーの建設計画が相次ぐなど、特に太陽光発電についてお取引先の関心が高いことから、制度に対する取組状況や、設備導入事例、電力会社との電力購入契約手続や留意事項など、実例を交えた情報を提供しました。再生可能エネルギーの固定買取制度開始以降、太陽光発電事業向け融資は、滋賀県内において100件を超える実行となりました（平成25年3月末現在）。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（４）

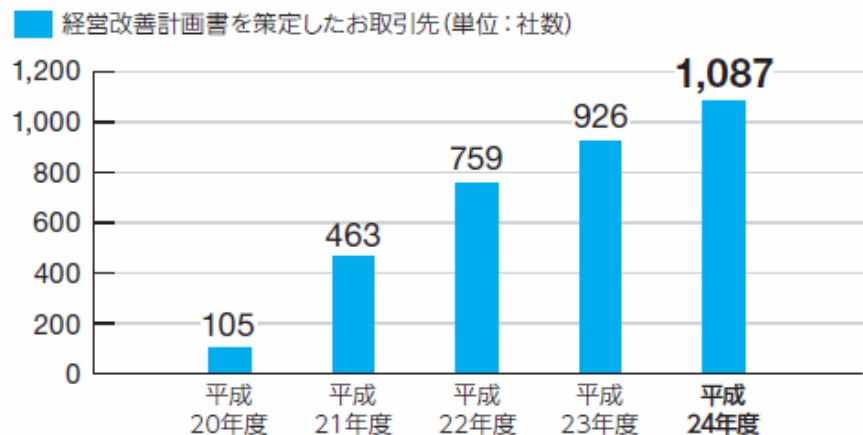


**お取引先の経営改善のために
経営者の皆さまと真剣に向き合います**

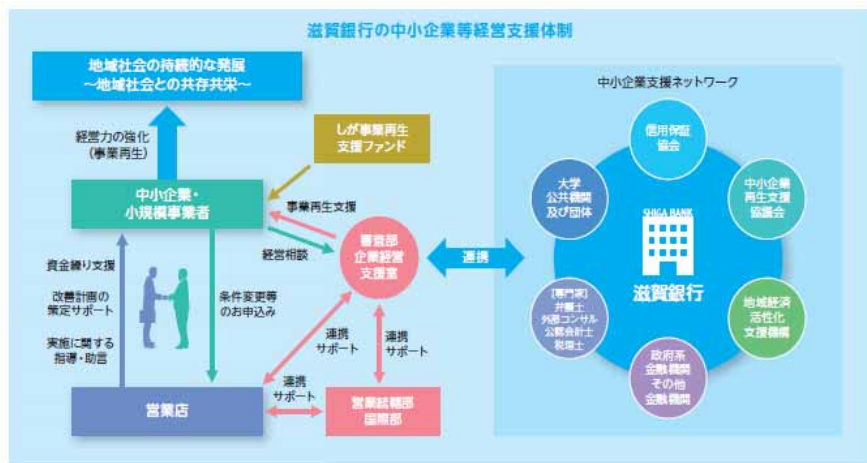
**格付コミュニケーション・サービス
経営改善計画の策定サポート**

- ・当行は、「企業格付」をお取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーションツールと位置付けています。
- ・このサービスは、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の永続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。
- ・具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしています。
- ・同サービスは、平成19年8月の開始から平成25年3月末までの間に、延べ7,703回実施しました。今後も、同サービスを活用してお取引先の経営基盤強化を目指してまいります。
- ・また、「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点を解決するための改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。
- ・策定した経営改善計画の進捗状況は適宜フォローし、お取引先の経営改善に向けた取り組みを時間をかけてサポートしています。

経営改善計画書の策定先累計



「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（5）



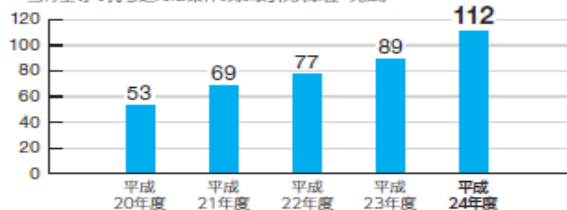
**お取引先の経営改善のために
経営者の皆さまと真剣に向き合います**

経営支援の体制強化

- ・営業店と審査部、営業統轄部の専門スタッフが、お取引先のご要望や経営状況に応じた「事業支援」ならびに「経営改善支援」に積極的に取り組んでいます。
- ・具体的には、売上の向上や経費の削減、および財務内容の改善等に向けたご提案や、お取引先の課題や問題点を解決するための「経営改善計画」策定支援、さらに組織再編、事業譲渡、M&A等多面的な再生スキームの構築を行っています。
- ・財務の再構築を含めた抜本的な経営改善が必要なお取引先には、審査部「企業経営支援室」が中心となって、DDS(デット・デット・スワップ)などの金融支援を伴う本格的な事業再生支援にも取り組んでいます。金融支援を含む事業再生は、公正中立な第三者機関である中小企業再生支援協議会等と連携を強化し、お取引先の再生に全力をあげています。
- ・今後も、本支店一体となった企業再生支援の一層の充実を図ってまいります。

中小企業再生支援協議会への持込先累計

■ 平成15年度の中小企業再生支援協議会発足以降に
当行主導で持ち込んだ案件のお取引先(単位:先数)



経営改善計画に基づいて実施した金融支援: 24先(重複あり)

DDS(債務の劣後化)	16先
DES(債務の株式化)	3先
DPO(債権譲渡)	7先

再生支援の取組実績

M&Aスキーム	12件
うち民事再生法等の活用	3件
うち私的整理型M&A	9件
第2会社方式スキーム	4件

主な外部専門家連携先(中小企業再生支援協議会除く)

コンサル会社	19先
弁護士、法律事務所	5先
その他専門家	5先

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（6）

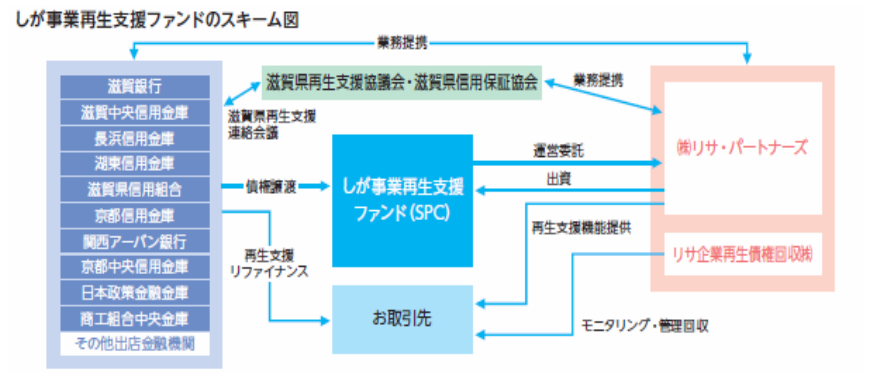
お取引先の経営改善のために経営者の皆さまと真剣に向き合います

金融円滑化に関する取り組みについて

・当行は、平成19年4月制定の「CSR憲章」において「地域社会との共存共栄」を経営理念の一つとして定め、地域社会の持続的な発展を目指して多面的に貢献すべく、金融仲介機能の発揮に積極的に取り組んでまいりました。なお、中小企業金融円滑化法は平成25年3月末に期限を迎えましたが、当行は同法の期限到来後についても従前と変わらず、事業資金ならびに住宅資金をお借り入れの皆さまへ、「知恵と親切の提供」によるコンサルティング機能を積極的に発揮し、それぞれの経営課題やライフプランに応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し、十分な時間をかけてサポートしてまいります。

しが事業再生支援ファンド

・当行は、平成25年1月24日、株式会社リサ・パートナーズならびに、リサ企業再生債権回収株式会社と「しが事業再生支援ファンド」を活用した企業再生に関する業務協力協定を締結いたしました。本ファンドは、地域金融機関、関係機関一体型の地域企業再生ファンドで、抜本的な事業再生や事業転換などを必要とされる地域の中小企業の皆さまの早期再生を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。当行は、これまで事業再生や事業転換が求められているお取引先の再生支援に取り組んでまいりましたが、本ファンドの活用を加えることにより、引き続きお取引先の皆さまの事業再生に向けた支援を積極的に行ってまいります。



（※記載金融機関は、平成25年3月31日現在） 【対象企業】 滋賀県及びその周辺地域において一定の経営基盤を持ち相応の収益基盤を保有しているもの、遅滞負債や不採算事業の存在等により十分な企業活力を発揮できていない中小企業等を主な対象企業といたします。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（１）



（滋賀銀行バンコク駐在員事務所の入居するオフィスビル）



（滋賀銀行バンコク駐在員事務所・テープカットの様子）

アジアビジネスを積極的にサポートします

近畿の地方銀行で初めてバンコク駐在員事務所を開設

- ・平成24年2月9日、タイ・バンコクに「滋賀銀行バンコク駐在員事務所」を開設しました。
- ・タイは中国に次いでお取引先の進出数が多く、FTA(自由貿易協定)により今後ますます輸出拠点としての地位が向上することもあり、今後一層のお取引先の進出が見込まれています。
- ・バンコク駐在員事務所では、本店国際部内の「アジアデスク」、香港支店、上海駐在員事務所、各地に派遣している海外トレーニー(研修生)と密接に連携し、現地で東南アジアの企業・金融市場の動向調査や情報収集を行い、ビジネス展開に有効な最新情報をお取引先に提供してまいります。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（2）



（「しがぎん」アジアセミナーの様子）

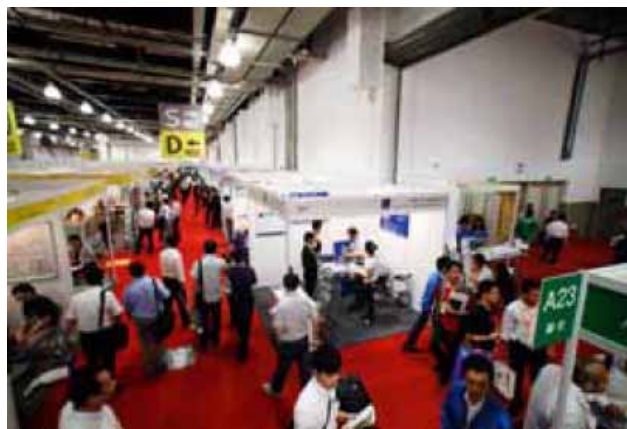
国内外でアジアビジネスの情報をご提供します

『しがぎん』アジアセミナーを開催

- ・平成5年以来、アジアをテーマに毎年開催している『しがぎん』アジアセミナー」を平成24年11月15日に開催いたしました。
- ・第31回目となる今回のセミナーでは、第一部で「人民元の国際化と活用」について、第二部では「貿易保険を活用したリスクヘッジ」について、専門家より講演いただき、アジアビジネスに関する情報をご提供しました。

中国でもセミナーや商談会を開催

- ・当行は、平成24年9月14日に中国銀行（Bank of China）と合同で、「第2回しがぎん上海セミナー」を開催し、上海市近郊のお取引先44社56名に参加いただきました。
- ・本セミナーでは、人民元の国際化、貿易決済の規制緩和と有効活用について情報をご提供しました。セミナー後には交流会も開催し、参加企業間での交流を深めていただきました。
- ・また、お取引先のビジネスマッチングニーズに応えるべく、9月12～13日に開催された『日中ものづくり商談会@上海2012』を地方銀行等38団体と共催し、当行のお取引先13社が出展されました。



（日中ものづくり商談会@上海2012の様子）

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（3）

「アジアに強いしがぎん」、
お取引先の海外進出を力強くサポートします。

お取引先の東南アジアを中心とする海外への進出が加速しています。当行は、海外進出がお取引先の一層の事業発展、更には地域経済の活性化につながるものと考え、今後ともお取引先の海外展開をサポートしてまいります。

業務提携・協力銀行等 (平成25年3月末現在)

銀行名等	提携・協力時期
インドステイト銀行(インド)	平成25年 2月
バンクネガラインドネシア(インドネシア)	平成24年 9月
バンコック銀行(タイ)	平成20年11月
カシコン銀行(タイ)	平成20年11月
中国銀行(中国)	平成15年 6月
中国工商银行(中国)	平成14年11月

- 1 世界的な交通決済がおこなわれるバンコクでは、三輪タクシーの「トゥクトゥク」が特徴
- 2 世界中から「ヒト・モノ・カネ」が集まる香港
- 3 経済圏ビルが立ち並び、賑わいの街・上海

1 BANGKOK

2 HONG KONG

3 SHANGHAI

ASIA NETWORK



アジアでも「しがぎん」ネットワークを発揮します

近畿で唯一海外に支店を有する地方銀行として

- ・当行は近畿で唯一、海外に支店を有する地方銀行として、香港支店で銀行業務を行っています。加えて、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、国際部アジアデスク、営業店のネットワークを活用し、お取引先のアジアにおける新たな拠点進出や販路拡大に向け、引き続きサポートしてまいります。

アジアでのしがぎんネットワークを強化

- ・平成24年9月6日に、当行はインドネシアの大手商業銀行である「バンクネガラインドネシア」と業務提携を結びました。
- ・また、平成25年2月7日に、「インドステイト銀行」と提携関係を結びました。
- ・これにより、バンコク駐在員事務所を設置したタイに加え、インドネシア、インドでも、お取引先へのサポート体制を強化しました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（1）



お客様の預金を「子どもたちの環境教育」に役立てます

「エコプラス定期」

- ・環境対応型金融商品「『しがぎん』エコプラス定期」は、平成18年度から、お客様がATM、インターネットバンキング、テレホンバンキングを利用し、定期預金を1回お預入いただくごとに当行が7円(不要となる申込用紙代の相当額)を積み立てて毎年拠出、子どもたちの「環境学習」をお手伝いしています。
- ・エコプラス定期は平成15年より取り扱いを開始し、平成25年3月末現在累計約211万件となっています。
- ・滋賀県内小学校でのビオトープづくり資金の助成の取り組みは累計で23校、1,079万円となりました(平成25年3月末現在)。



(学校ビオトープの様子)

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（2）

PLB3原則

1. 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
2. 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。
3. 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。



地球環境保全を真剣に考えています

「しがぎん琵琶湖原則」(PLB)

- ・お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則」(PLB = Principles for Lake Biwa)を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めたこの原則への賛同を広く呼びかけています。
- ・「PLB」にご賛同いただいたお客さまに対し「PLB格付(環境格付)」を行い、格付評価に応じてご融資金利を最大で年0.5%引き下げする「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」(平成17年12月取扱開始)を提供し、お客さまの地球環境保全への取り組みをサポートしています。
- ・PLB資金とエコ・クリーン資金の取扱開始からの累計は、平成25年3月末現在で2,072件の383億円となりました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（3）



《PLB格付BD評価項目》

分野	評価指標(概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動の公表	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8. 活動や成果の公表状況

お客さまに生物多様性保全を呼びかけています

「生物多様性（Biodiversity）」についての独自の評価体系「PLB格付BD」

- ・「豊かな生物多様性の承継と自然共生社会の構築」に向けた取り組みを新たな挑戦と位置づけ、「生物多様性」について当行独自の評価体系「PLB格付BD」を策定し、平成21年11月より取り扱いを開始しました。
- ・これは、お取引先企業が生物多様性の保全活動に取り組む際の「道しるべ」となるよう、厳選した8項目で評価させていただくものです。そのうえで、企業活動において「生物多様性の保全等に対する配慮がされている」と当行が判断し、お取引先企業が「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」を利用される場合、PLB格付での引き下げ幅と合わせて最大で年0.6%の金利引き下げが可能となるものです。
- ・なお、生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表したのは、全国の金融機関で初めてです。
- ・取扱開始から平成25年3月末までの間に3,024件のPLB格付BDの評価を行いました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（４）



お客さまのお借入を自然エネルギーの導入と
生物多様性の保全につなげます

「カーボンニュートラルローン 未来よし」

- ・自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです。
- ・これは、お客さまが当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出するものです。
- ・なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしています。
- ・これまで累計で235億円（平成25年3月末現在）のご融資をご利用いただき、平成19年度から総額870万円を公益財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈しました。これは、ニゴロブナ21万匹、ワタカ14万匹相当にあたります。



（当行の役職員がニゴロブナ・ワタカを放流）

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（5）

環境金融と生物多様性保全への取り組みを強化

金融業界初のエコ・ファースト企業」として認定

- ・当行は、平成20年7月に「エコ・ファーストの約束」を環境大臣に提出し、金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定を受けました。また、平成24年3月には、「約束」の更新を行いました。
- ・金融の役割を通じて持続可能な社会づくりに貢献するとの使命を持ち、環境に配慮したお金の流れの拡大に向けて、お客さま・地域の皆さま・役職員とともに環境保全に努めてまいります。

地域に根ざした環境ボランティア活動を展開

<外来魚駆除・釣りボランティア>

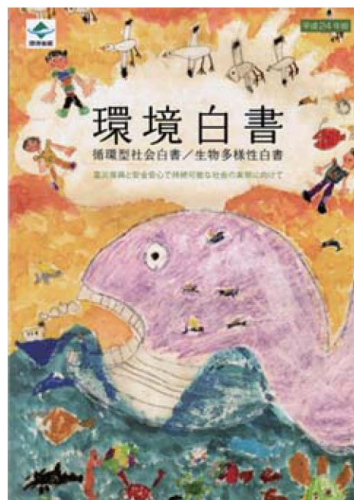
- ・近年、琵琶湖では岸辺のほとんどをブラックバスやブルーギルなどの外来魚が占めるようになりました。多くの固有種が生息する貴重な琵琶湖の生態系を守る生物多様性保全の取り組みとして、「外来魚駆除・釣りボランティア」を開催しています。
- ・平成24年度は役職員140名が参加し、1時間半で外来魚877匹を釣り上げ、琵琶湖の深刻な外来魚問題について理解を深めました。

エコ・ファーストの約束



- 1 “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進します。
- 2 「グリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」を推進します。
- 3 生物多様性の保全を実現する社会づくりを推進します。

《エコ・ファーストの約束》



いきものがたり活動

- ・環境省発行の「平成24年版 環境白書」に当行の琵琶湖の環境と生態系保全の「いきものがたり活動」が掲載されました。「ヨシ刈り」「ヨシ苗植え」「ニゴロブナ・ワタカの放流」「外来魚駆除・釣りボランティア」などのストーリー性を持った活動内容が高く評価されました。

地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について

地域密着型金融推進に関し、当行が掲げた数値目標とその結果は下記のとおりです。

取り組み項目	平成25年3月末 目標	平成25年3月末 実績	平成25年3月末 達成率(%)	地域密着型金融の推進に 関する3つの視点		
第4次長期経営計画の挑戦指標				お取引先企業に対する コンサルティング機能の発揮	地域の面的 再生への積極的な参画	地域やお客さまに対する積極的な 情報発信
Tier1比率(連結)〔1〕	9.0%以上	9.69%				
ROE(連結)	3.5%以上	2.18%				
OHR(単体)	65%以下	68.89%				
CO ₂ 排出量〔2〕	(2006年度比較) 25%削減	43.61%削減				
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み						
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み						
ニュービジネスサポート：コーディネート活動件数	100件	95件	95.0%			
ビジネスマッチング件数(面談設定)	2,400件	4,045件	168.5%			
事業承継提案件数	360件	514件	142.7%			
格付コミュニケーションサービスの実施回数(のべ回数)	3,400回	4,571回	134.4%			
債務者区分のランクアップ先数〔3〕	60先	19先	31.6%			
中小企業再生支援協議会の活用件数	24件	40件	166.6%			
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み						
アジアデスク・海外拠点によるサポート件数	3,600件	4,210件	116.9%			
中国進出アドバイザー契約件数	10件	5件	50.0%			
海外ミッション、海外商談会	各3回	各6回	200.0%			
海外企業とのビジネスマッチング取り組み件数	100件	116件	116.0%			
「CSRのしがぎん」に関する取り組み						
エコプラス定期	650,000件	516,019件	79.3%			
PLB資金、エコクリーン資金(件数)〔4〕	1,400件	580件	41.4%			
PLB資金、エコクリーン資金(金額)	180億円	133.6億円	74.2%			
PLB格付BD評価件数〔5〕	3,800件	3,024件	79.5%			
災害リスクコンサルティング	100件	706件	706.0%			

- 1 Tier1比率(連結) ...パーセル ベースの数値を記載しております。
- 2 CO₂排出量実績 ...排出権の購入によるカーボンオフセット効果20.42%の削減を含みます。
- 3 債務者区分のランクアップ先数...審査部企業経営支援室が担当となり支援を申し上げる取引先(対象先220先)についてカウントします。
- 4 PLB資金 ...「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金。
- 5 PLB格付BD ...生物多様性(Biodiversity)の保全活動に取り組みられるお取引先に対する当行独自の評価体系。